

OpenText Filr 23.2

Desktop アプリケーションガイド for Windows

2023 年 4 月

保証と著作権

Copyright 2023 Open Text

Open Text、関連会社、およびライセンサ(「Open Text」)の製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明示的に規定されたものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。Open Text は、本書に技術的または編集上の誤りまたは不備があっても責任を負わないものとします。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

目次

このガイドについて	5
1 概要	7
2 Filr Desktop アプリケーションのインストールと設定	9
サポートマトリックス	9
サポートされている言語	9
Filr Desktop アプリケーションのダウンロードおよびインストール	10
Filr Desktop アプリケーションへのログイン	11
初めてログインする	11
デスクトップを構成した後のログイン	11
別のユーザとしてのログイン	12
Filr Desktop コンソールの構成	12
Filr Desktop アプリケーションのアップグレード	12
3 Filr Desktop アプリケーションのアンインストール	15
4 Filr Desktop アプリケーションの操作の理解	17
共同編集の実行	17
代理サポート	17
Windows の長いパスを有効にする (Windows 10 - 1803 ビルド)	18
短い名前の作成の有効化 (Windows 7 および Windows 10)	19
同期の理解	20
同期が実行されるタイミング	21
同期されるフォルダ	21
サポートされているアクション	21
ファイルおよびフォルダを手動で同期する	22
保留中の同期変更の表示	22
Filr Desktop アプリケーションでの作業	23
Filr Desktop コンソールの理解	23
アカウント	23
全般	24
ストレージ	24
Application (アプリケーション)	24
保留中の変更	24
最近のアクティビティ	24
システムアラート	24
Filr 操作の理解	25
Filr 操作の要約表	25
オフラインで使用できるようにする	26
オンラインでのみ使用できるようにする	26
キャッシュファイルを削除する	26
今すぐ同期	26
ローカル変更を取り消す	27

コンピュータから Filr ファイルを表示する	27
オフラインのファイルおよびフォルダを手動で同期する	27
Filr Desktop からブラウザ内で Filr を起動する	28
ファイルへのコメントの追加およびコメントの表示	28
ファイルまたはフォルダの共有	28
ファイルへのリンクの配布	31
ファイルのアップロード	32
ファイルまたはフォルダの Filr プロパティの表示	32
Filr Desktop コンソールでの作業	33
Filr アカウント情報の変更	33
データクォータの理解および表示	34
ファイルシステム上の Filr ファイル同期場所の変更	34
キャッシュファイルの削除	35
アプリケーションドリブンダウンロードによってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐ	35
同期問題の理解と解決	37
最近のアクティビティの表示	38
システムアラートの表示	38
デスクトップアプリケーションのブランディングのカスタマイズ	38
バルーン通知は表示されないことがある	39

5 トラブルシューティング 41

同期していないファイル	41
ログファイル	41
アップグレードに関する問題	42
デスクトップアプリケーションをアップグレードした後、Windows のデスクトップアプリケーションに古いバージョンのアイコンが表示される	42
デスクトップアプリケーションをアップグレードするときに Windows のデスクトップがハングすることがある	42
一般的な問題	43
エクスプローラで大きいサイズのファイルを移動するとエラーが表示される	43
Windows の長いパス	43
ファイル操作の実行時にエラーが発生する	43
セキュリティタブを使用できない	43
制限	43

このガイドについて

このガイドでは、Filr Desktop のユーザ向けに、次のトピックについて説明します。

- 7 ページの第 1 章「概要」
- 9 ページの第 2 章「Filr Desktop アプリケーションのインストールと設定」
- 15 ページの第 3 章「Filr Desktop アプリケーションのアンインストール」
- 17 ページの第 4 章「Filr Desktop アプリケーションの操作の理解」
- 41 ページの第 5 章「トラブルシューティング」

対象読者

このガイドは、Filr Desktop のユーザ向けです。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインヘルプの各ページの下部にある、[\[comment on this topic\]](#) リンクを使用してください。

マニュアルの更新

「*Filr Administrative User Interface Reference*(Filr 管理者用ユーザインタフェースリファレンス)」やその他のマニュアルの最新版は、[Filr マニュアルの Web サイト \(http://www.microfocus.com/documentation/filr/filr-23.2\)](http://www.microfocus.com/documentation/filr/filr-23.2) を参照してください。

1 概要

OpenText Filr を使用することにより、デスクトップ、ブラウザ、またはモバイルデバイスからすべてのファイルとフォルダに簡単にアクセスできます。また、ファイルとフォルダを他のユーザと共有することで、自分のファイルでコラボレーションを促進できます。

デスクトップからだけではなく、次の方法でも Filr にアクセスできます。

- ◆ ワークステーションの Web ブラウザからは、『[OpenText Filr 23.2- よくある質問と答え \(FAQ\)](#)』に説明されている方法でアクセスします。
- ◆ モバイルデバイスからは、『[OpenText Filr 23.2 Mobile アプリクイックスタート](#)』に説明されている方法でアクセスします。

Filr のファイルを自分のコンピュータと同期すれば、Filr サイトにアクセスすることなく、ファイルを直接変更することができます。追加、変更、および他のアクションが、Filr と自分のコンピュータとの間で同期されます。

この方法を実施するには、Filr 管理者が Filr Desktop アプリケーションを有効にして、Filr サイトと共に使用できるようにしておく必要があります。詳しくは、『[OpenText Filr 23.2: Administrative UI Reference\(OpenText Filr 23.2: 管理者用 UI リファレンス\)](#)』の「[Desktop Access—Default Settings\(デスクトップアクセス — デフォルトの設定\)](#)」を参照してください。

2 Filr Desktop アプリケーションのインストールと設定

このセクションでは、Filr Desktop アプリケーションのインストールおよび構成についてシステム要件と手順を説明します。

- ◆ 9 ページの「サポートマトリックス」
- ◆ 9 ページの「サポートされている言語」
- ◆ 10 ページの「Filr Desktop アプリケーションのダウンロードおよびインストール」
- ◆ 11 ページの「Filr Desktop アプリケーションへのログイン」
- ◆ 12 ページの「Filr Desktop コンソールの構成」
- ◆ 12 ページの「Filr Desktop アプリケーションのアップグレード」

サポートマトリックス

次の表は、Filr Desktop アプリケーションをインストールするための前提条件の一覧です。

Windows プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none">◆ Windows 11◆ Windows 10
Filr サーバ	<ul style="list-style-type: none">◆ Filr 23.2

サポートされている言語

Filr Desktop アプリケーションで表示されるデフォルトの言語は、アプリケーションが実行されているワークステーションで設定されている言語によって定義されます。

Filr Desktop アプリケーションは、以下の言語をサポートしています。

-
- | | |
|-----------|-------------------|
| ◆ チェコ語 | ◆ ハンガリー語 |
| ◆ 簡体字中国語 | ◆ イタリア語 |
| ◆ 繁体字中国語 | ◆ 日本語 |
| ◆ デンマーク語 | ◆ ポーランド語 |
| ◆ オランダ語 | ◆ ポルトガル語 (ブラジル) |
| ◆ 英語 | ◆ ロシア語 |
| ◆ フィンランド語 | ◆ スペイン語 |
| ◆ フランス語 | ◆ スウェーデン語 |
| ◆ ドイツ語 | |
-

Filr Desktop アプリケーションのダウンロードおよびインストール

- 1 ワークステーションで、ブラウザから Filr Web アプリケーションにアクセスします。
- 2 ページの右上隅にある、リンクになっている自分の名前をクリックして、[[Filr Desktop アプリのダウンロード](#)] をクリックします。
- 3 [[\[Windows x86 クライアント\]](#)] リンクまたは [[\[Windows x64 クライアント\]](#)] リンクのいずれかをクリックして、ご使用のオペレーティングシステムに適したアプリケーションをダウンロードしてください。
- 4 ダウンロードが完了したら、ご使用のオペレーティングシステムが 32 ビットか 64 ビットかに応じて、MicroFocusFilrSetup-x86-releaseversion.x.exe ファイルまたは MicroFocusFilrSetup-x64-releaseversion.x.exe ファイルを開きます。
- 5 (設定による) Microsoft .NET Framework 4.6.2 (またはそれ以降) がまだワークステーションにインストールされていない場合は、ライセンス契約に同意してインストールするプロンプトが表示されます。Microsoft .NET Framework をインストールするには、コンピュータを再起動する必要があります。
- 6 [[次へ](#)] をクリックします。
- 7 ライセンス契約を受諾して、[[次へ](#)] をクリックします。
- 8 Filr Desktop アプリケーションのインストール場所を変更するか、またはデフォルトの場所を受け入れて [[次へ](#)] をクリックします。
- 9 [[インストール](#)] をクリックします。
- 10 インストールが完了したら、[[完了](#)] をクリックして、[11 ページ](#)の「[初めてログインする](#)」に進みます。

Filr Desktop アプリケーションへのログイン

Filr 管理者が多要素認証を有効にしている場合は、Filr Desktop アプリケーションにログインするときに、標準的なユーザ名とパスワードによる認証だけでなく、追加の認証手順を求められることがあります。多要素認証の詳細については、『[OpenText Filr 23.2: Maintenance Best Practices Guide\(OpenText Filr 23.2: 保守のベストプラクティスガイド\)](#)』の「[Using Multi-Factor Advanced Authentication with Filr\(Filr での多要素 Advanced Authentication の使用\)](#)」を参照してください。

初めて Filr にログインするか、デスクトップを構成した後にログインするか、別のユーザとしてログインするかに応じて、次のセクションをご覧ください。

- [11 ページの「初めてログインする」](#)
- [11 ページの「デスクトップを構成した後のログイン」](#)
- [12 ページの「別のユーザとしてのログイン」](#)

初めてログインする

Filr Desktop アプリケーションをダウンロードしてインストールすると、アプリケーションにログインするプロンプトが表示されます。Filr Desktop アプリケーションのダウンロードおよびインストールの詳細については、[10 ページの「Filr Desktop アプリケーションのダウンロードおよびインストール」](#)を参照してください。

Filr Desktop アプリケーションにログインする：

- 1 Filr のログインダイアログで、次の情報を指定します。

ユーザ名：Filr サイトにログインするときに使用する Filr ユーザ名を指定します。


パスワード：Filr サイトにログインするときに使用する Filr パスワードを指定します。

パスワードを記憶する：Filr Desktop アプリケーションにパスワードを記憶させる場合は、このオプションを選択します。

注：Filr 管理者はこのオプションを無効にすることができます。

サーバ URL：ファイルをコンピュータに同期する Filr サイトの URL を指定します。例：
`https://Filr.mycompany.com:8443`

- 2 (設定による) Filr 管理者が多要素認証を有効にしている場合は、標準的なユーザ名とパスワードによる認証の詳細だけでなく、追加の認証の詳細を入力します。
- 3 **[ログイン]** をクリックします。

これで Filr Desktop アプリケーションが実行され、**[Filr]** アイコン  が通知エリアに表示されます。

デスクトップを構成した後のログイン

初回ログインの後に Filr アプリケーションにログインするときは、通知エリアの **[Filr]** アイコン  を右クリックして、**[ログイン]** をクリックします。

別のユーザとしてのログイン


別のユーザとしてログインする方法については、33 ページの「Filtr アカウント情報の変更」を参照してください。

Filtr Desktop コンソールの構成

Filtr Desktop コンソールを使用すると、ログインの詳細や、ファイルストレージの場所、コンピュータの起動時に自動的に Filtr を起動するかどうかなどの情報を設定できます。コンソールには、保留中の同期変更、最近の Filtr アクティビティ、システムアラートなどに関する情報を表示することもできます。

- 1 Filtr Desktop アプリケーションにログインします。

Desktop アプリケーションへのログインについては、11 ページの「Filtr Desktop アプリケーションへのログイン」を参照してください。

- 2 通知エリアの [Filtr] アイコン  を右クリックして、[[Filtr コンソールを開く]] をクリックします。

- 3 Filtr Desktop コンソールでは、次の事項を構成できます。

- ◆ **ログインの詳細の編集** : [[アカウント]] タブには、前回のログイン時に指定されたログイン情報が表示されます。必要に応じて、ログイン情報を編集できます。詳細については、11 ページの「Filtr Desktop アプリケーションへのログイン」を参照してください。
- ◆ **Filtr の一般的な詳細情報の編集** : [[一般]] タブでは、コンピュータの起動時に Filtr を自動的に起動するかどうかを指定できます。
- ◆ **ストレージの場所の編集** : [[ストレージ]] タブでは、Filtr ファイルを同期する場所を指定します。デフォルトでは、Filtr ファイルはユーザのファイルシステムの `c:\Users\username\Filtr` フォルダに同期されます。

コンソールには、次の情報を表示することもできます。

- ◆ **保留中の同期変更** : [[保留中の変更]] タブでは、進行中の同期変更を表示することができます。
- ◆ **最近のアクティビティ** : [[最近のアクティビティ]] タブでは、最近実行されたアクティビティを表示することができます。
- ◆ **システムアラート** : [[システムアラート]] タブでは、デスクトップアプリケーションが生成するアラートを表示することができます。

Filtr Desktop アプリケーションのアップグレード

Filtr デスクトップアプリケーションは、最新のパッチでアップグレードできます。

アップグレードするには、その前に次のようにして Filr クライアントを終了する必要があります。

1. <Shift> を押しながら、Windows のシステムトレイにある Filr アイコンを右クリックします。
2. [[終了]] をクリックします。

前のバージョンを実行中に Filr Desktop アプリケーションをアップグレードすると、オーバーレイアイコンが表示されないことがあります。

3 Filr Desktop アプリケーションのアンインストール

Filr Desktop アプリケーションをアンインストールする前に、開いている Filr ファイルおよびアプリケーションをすべて閉じます。

Filr Desktop アプリケーションをアンインストールすると、以下の処理が行われます。

- すべての Filr アプリケーションファイルと構成データが削除されます。
- アンインストール処理の一部として、以前にダウンロードおよび同期されたファイルとフォルダは次のフォルダに移動します：

C:\Users*UserName*\Filr (archived)(number)

番号の数值は、1 から始まり、Filr のアンインストールが行われるたびに 1 増えていきます。

不要になったフォルダは削除できますが、そのファイルとフォルダは Filr サーバに引き続き残ります。

Filr Desktop アプリケーションをアンインストールするには、以下の手順を行います。

- 1 Windows の [コントロールパネル] を使用して、Filr Desktop アプリケーションをアンインストールします。

4 Filr Desktop アプリケーションの操作の理解

- 17 ページの「共同編集の実行」
- 17 ページの「代理サポート」
- 18 ページの「Windows の長いパスを有効にする (Windows 10 - 1803 ビルド)」
- 19 ページの「短い名前の作成の有効化 (Windows 7 および Windows 10)」
- 20 ページの「同期の理解」
- 23 ページの「Filr Desktop アプリケーションでの作業」
- 23 ページの「Filr Desktop コンソールの理解」
- 25 ページの「Filr 操作の理解」
- 33 ページの「Filr Desktop コンソールでの作業」
- 38 ページの「デスクトップアプリケーションのブランディングのカスタマイズ」
- 39 ページの「バルーン通知は表示されないことがある」

共同編集の実行

[[オンラインで編集]] オプションを使用すると、多くのドキュメントを安全に編集できます。ドキュメント、スプレッドシート、イメージなど、すべての主要なファイルタイプに対して共同編集を実行できます。編集は、Filr アプリケーションを使用して実行されます。各ファイルは個別のネイティブウィンドウで開きます。

- 1 [マイファイル]、[自分が共有相手]、および [自分が共有者]、および [ネットフォルダ] の各領域にあるドキュメントを右クリックし、[[オンラインで編集]] オプションをクリックして、ファイルの安全な共同編集を実行します。ファイルに設定されているアクセス許可に応じて、共有ファイルを表示または編集できます。

すべてのユーザが同じドキュメントを同時に編集できます。ドキュメントの編集は、Filr アプライアンスで [Content Editor] オプションに設定されているポリシーによって異なります。

代理サポート

Filr Desktop クライアントは、Windows で設定されたシステムプロキシ設定に適用されません。Windows によって提供される自動および手動のプロキシセットアップオプションはどちらも、Filr Desktop クライアントによって適用されます。クライアントはプロキシ設定の変更を検出し、更新された設定を動的に利用します。

注 : Filr 4.3 以降を実行しているクライアントは、認証が必要なプロキシサーバに接続できません。ただし、レジストリエントリを有効にすることで、Filr 4.2 以前のクライアントは承認されたプロキシサーバに接続できます。Filr デスクトップクライアントがプロキシ例外リストを適用する必要がある場合は、PAC スクリプトを使用します。プロキシサーバが認証を必要とする場合は、ワークステーションのレジストリエントリを有効にします。

ワークステーションでレジストリエントリを有効にするには、次の手順を実行します。

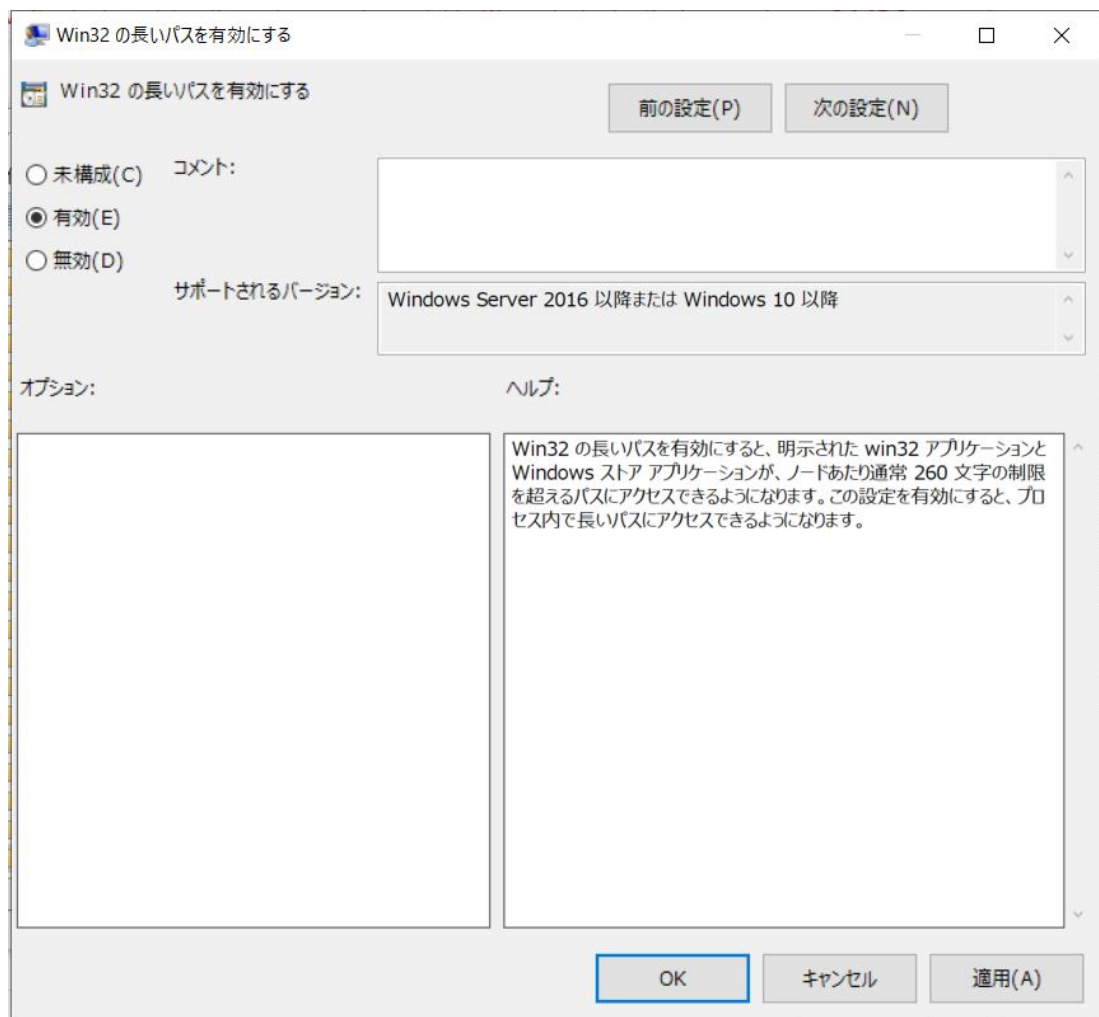
- 1 レジストリパス : HKEY_CURRENT_USER\Software\Novell\Filr
- 2 新しい DWORD を作成します PromptProxyPassword
- 3 値を 1 に設定します

Filr Desktop クライアントには、プロキシ資格情報を指定するためのポップアップが表示されます。

Windows の長いパスを有効にする (Windows 10 - 1803 ビルド)

次の手順を実行すると、パワーシェルは長いパス機能に対して機能します。

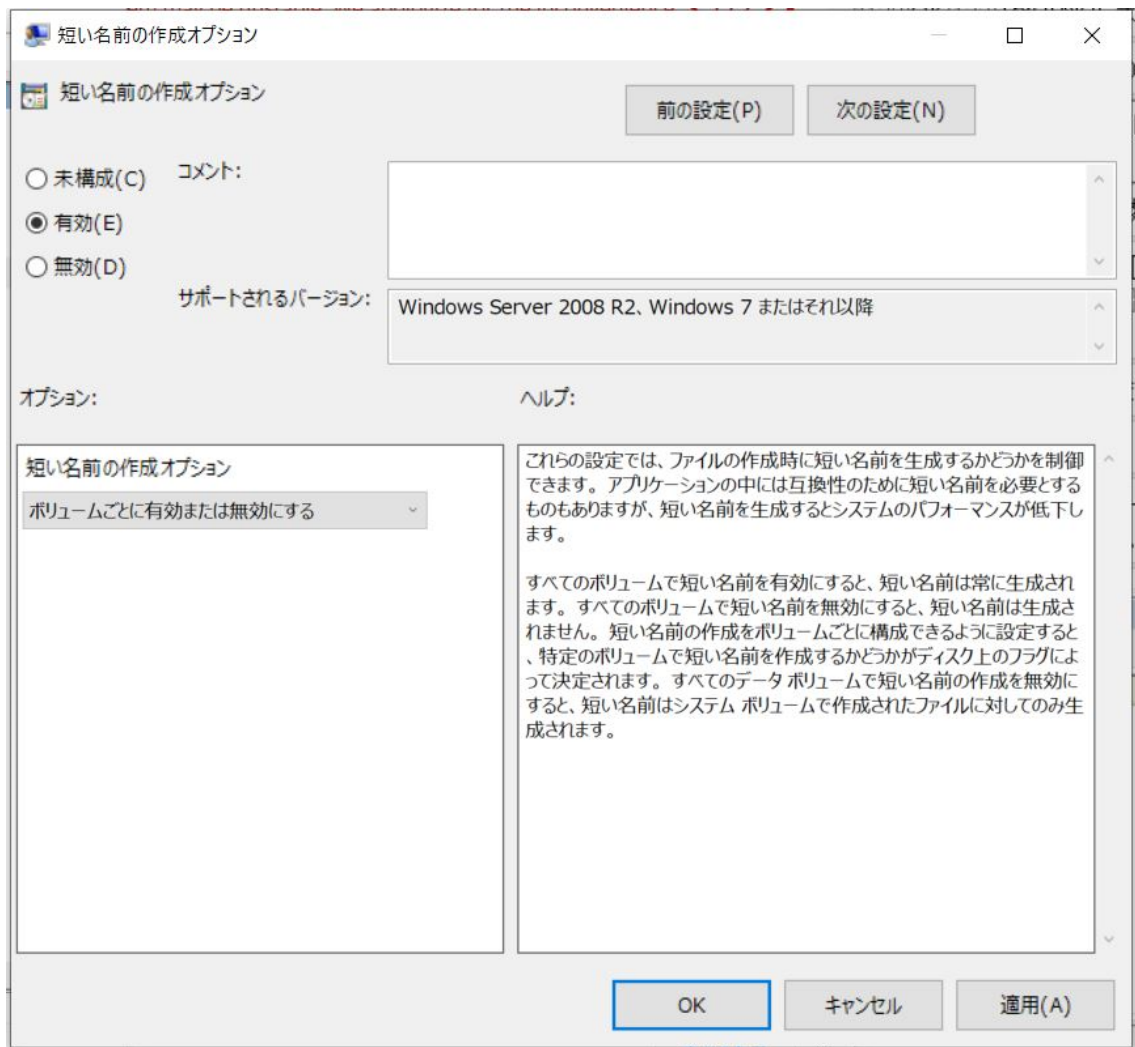
- 1 [Window] キーをクリックして「gpedit.msc」と入力し、<[Enter]> キーを押します。これにより、ローカルグループポリシー エディタが起動します。
- 2 [[ローカルコンピュータポリシー] > [コンピュータの構成] > [管理用テンプレート] > [システム] > [ファイルシステム]] に移動します。
- 3 [[NTFS のロングパスを有効にする]] をダブルクリックします。



- 4 [[有効]] を選択し、[[OK]] をクリックします。

短い名前の作成の有効化 (Windows 7 および Windows 10)

- 1 [Window] キーをクリックして「gpedit.msc」と入力し、<[Enter]> キーを押します。これにより、ローカルグループポリシー エディタが起動します。
- 2 [[ローカルコンピュータポリシー] > [コンピュータの構成] > [管理用テンプレート] > [システム] > [ファイルシステム] > [NTFS]] に移動します。
- 3 [[短い名前の作成オプション]] をダブルクリックします。



- 4 [[有効]] を選択します。
- 5 [[オプション] > [すべてのボリュームで有効にする]] を選択し、[[OK]] をクリックします。

同期の理解

- ◆ 21 ページの「同期が実行されるタイミング」
- ◆ 21 ページの「同期されるフォルダ」
- ◆ 21 ページの「サポートされているアクション」
- ◆ 22 ページの「ファイルおよびフォルダを手動で同期する」
- ◆ 22 ページの「保留中の同期変更の表示」

同期が実行されるタイミング

Filr Desktop アプリケーションから Filr サーバへの同期は、ファイルが保存されて閉じられた時に即時で実行されます。Filr サーバから Filr Desktop アプリケーションへの同期は、Filr 管理者が指定した間隔で実行されます。デフォルトは 15 分ごとです。サーバが使用不可になると、デスクトップクライアントは、接続が再確立されるまで 1 分ごとにサーバに接続しようとしています。

スケジュール設定された同期まで待たずに、手動でファイルを同期することもできます。詳細については、[22 ページの「ファイルおよびフォルダを手動で同期する」](#)を参照してください。

同期されるフォルダ

次の場所に置かれているファイルは、ユーザのワークステーションと同期します。

マイファイル : Filr サイトのユーザの [マイファイル] エリアに置かれているファイルは、デフォルトでユーザのワークステーションに同期されます。ユーザのワークステーションで [マイファイル] フォルダ (C:\Users\username\Filr\My Files) にファイルを追加すると、次の同期でそこにあるファイルは自動的に Filr に同期されます。

自分が共有相手 : Filr サイトの [自分が共有相手] エリアに置かれているファイルは、デフォルトでユーザのワークステーションに同期されます。編集権限または寄稿権限を持っている場合、[自分が共有相手] エリアにあるファイルを編集することができ、編集内容は Filr に同期されます。ただし、ユーザのワークステーションの Filr Desktop アプリケーションから [[自分が共有相手]] フォルダのルート (C:\Users\username\Filr\Shared with Me/) にファイルを追加することはできません。この場所にファイルを追加しても、ファイルは Filr に同期されません。他のユーザから共有を受けたフォルダに対して寄稿者権限を持っている場合は、そのフォルダにファイルを追加することができます。

ネットフォルダ : ネットフォルダ (/Users/username/Filr/Net Folder) にあるファイルは、デフォルトではワークステーションに同期されません。

コーポレートファイルシステムにあるフォルダとファイルのことを、「ネットフォルダ」といいます。コーポレートファイルには、自分のホームディレクトリ上のファイル、マップされたドライブ上のファイル、またはリモートサーバ上のファイルが含まれます。Filr を使用することで、それらのファイルがどこにあってもシームレスにアクセスできます。アクセスできるコーポレートファイルは、Filr 管理者によって定義されています。

C:\Users\username\Filr フォルダのルートにあるファイルは同期できません。その代わりに、いずれかの適切なサブフォルダ ([マイファイル] または [ネットフォルダ]) にファイルを追加してください。

サポートされているアクション

ユーザのファイルシステムにある Filr フォルダ内のフォルダおよびドキュメントに対して以下のいずれかのアクションを実行すると、次の同期のときに、そのアクションがユーザのコンピュータファイルシステムと Filr サーバとの間で同期されます。

- ドキュメントおよびフォルダの作成

- ◆ ドキュメントおよびフォルダのコピー
- ◆ ドキュメントでのコメント
- ◆ ドキュメントおよびフォルダの削除

削除する権限を持っている場合、Filtr Desktop アプリケーションから削除するドキュメントおよびフォルダはサーバからも削除されます。ただし、[自分が共有相手] エリアにあるドキュメントを削除する場合は例外です。

自分が直接共有を受けたドキュメントまたはフォルダを [自分が共有相手] エリアから削除すると、Filtr Desktop アプリケーションには同期されなくなりますが、ドキュメントとフォルダはサーバに残ります。


自分が共有を受けたドキュメントや、共有を受けたフォルダのサブフォルダとなるフォルダを削除する場合、または削除対象のドキュメントが共有を受けたフォルダに格納されている場合、削除する十分な権限があればドキュメントまたはフォルダはサーバから削除されます。

- ◆ ドキュメント
- ◆ ドキュメントおよびフォルダの移動
- ◆ ドキュメントおよびフォルダの名前変更
- ◆ ドキュメントおよびフォルダの共有

ファイルおよびフォルダを手動で同期する

スケジュール設定された同期まで待たずに、Filtr とコンピュータとの間のファイルおよびフォルダの同期を手動で取ることができます。同期するファイルは事前に閉じられている必要があります。


すべてのファイルを手動で同期するには：

- 1 通知エリアの [Filtr] アイコン  を右クリックしてから、[[今すぐ同期]] をクリックします。



ファイルまたはフォルダを個別に手動で同期するには：









- 1 同期するファイルまたはフォルダに移動します。
- 2 該当するファイルまたはフォルダを右クリックして、[[他の Filtr オプション]] > [[今すぐ同期]] の順にクリックします。



保留中の同期変更の表示

- 1 通知エリアの [Filtr] アイコン  を右クリックしてから、[Filtr コンソールを開く] をクリックします。
- 2 [[保留中の変更]] をクリックします。

Filr Desktop アプリケーションでの作業

Filr Desktop アプリケーションをインストールして、このアプリケーションにログインすると、Filr Desktop アプリケーションが実行され、[Filr] アイコン  が通知エリアに表示されます。 をクリックすると Filr フォルダが開きます。このポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

- Filr フォルダを開くには、を右クリック  してから、[[Filr フォルダを開く]] をクリックします。
- Filr コンソールを起動するには、を右クリック  してから、[[Filr コンソールを開く]] をクリックします。
- ブラウザを使用して Filr にアクセスするには、を右クリック  してから、[[Web 上の Filr にアクセス]] をクリックします。
- すべてのファイルを手動で同期するには、を右クリック  してから、[[今すぐ同期]] をクリックします。
- デスクトップアプリケーションからログアウトするには、を右クリック  してから、[[ログアウト]] をクリックします。
- デスクトップアプリケーションにログインするには、を右クリック  してから、[[ログイン]] をクリックします。
- Filr のバージョンを表示するには、を右クリック  してから、[[社名 Filr のバージョン情報]] をクリックします。
- ヘルプファイルを表示するには、を右クリック  してから、[[ヘルプ]] をクリックします。

注：を右クリック  すると、[[終了]] オプションはリストに表示されなくなります。Filr Desktop アプリケーションを終了するには、<Shift> キーを押してを右クリック  します。その後、[[終了]] をクリックします。

Filr Desktop コンソールの理解

Filr Desktop コンソールには、以下のオプションがあります。

アカウント

- ユーザアカウント情報を変更できます。詳細については、[33 ページの「Filr アカウント情報の変更」](#)を参照してください。
- ユーザのデータクォータを表示します。詳細については、「[34 ページの「データクォータの理解および表示」](#)」を参照してください。

全般

- コンピュータ始動時に Filr を自動的に起動するかどうかを指定できます。

ストレージ

- Filr ファイルを同期する場所を指定できます。デフォルトでは、Filr ファイルはユーザーのファイルシステムの C:\Users\username\Filr フォルダに同期されます。詳細については、「[24 ページの「ストレージ」](#)」を参照してください。
- ローカルにキャッシュされたファイルを、最後にアクセスまたは変更してからどれほどの期間保持するかを指定できます。詳細については、「[35 ページの「キャッシュファイルの削除」](#)」を参照してください。

Application (アプリケーション)

- Filr では、システム管理者がアプリケーションドリブンダウンロードを制御し、Filr の動作によってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐことができるようになりました。管理者が行った操作については、[アプリケーション] ページに要約されています。制限が設けられている場合は、許可されているかブロックされているアプリケーション、またはその両方のアプリケーションを表示するためのリンクがこのページに配置されます。詳細については、「[35 ページの「アプリケーションドリブンダウンロードによってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐ」](#)」を参照してください。

保留中の変更

- 正常に完了しなかった同期アクションに関する情報が表示されます。同期アクションを再試行するか、Filr ワークスペースへの変更を取り消すことができます。詳細については、「[37 ページの「同期問題の理解と解決」](#)」を参照してください。

最近のアクティビティ

- Filr Desktop アプリケーションで最近行われたアクティビティが表示されます。詳細については、「[38 ページの「最近のアクティビティの表示」](#)」を参照してください。

システムアラート

- 新しいソフトウェアアップデート、期限切れのパスワード、サーバダウンタイムなどさまざまなアラートが表示されます。詳細については、「[38 ページの「システムアラートの表示」](#)」を参照してください。

Filr 操作の理解

次のセクションでは、Filr のさまざまな操作について説明します。

- ◆ 25 ページの「Filr 操作の要約表」
- ◆ 26 ページの「オフラインで使用できるようにする」
- ◆ 26 ページの「オンラインでのみ使用できるようにする」
- ◆ 26 ページの「キャッシュファイルを削除する」
- ◆ 26 ページの「今すぐ同期」
- ◆ 27 ページの「ローカル変更を取り消す」
- ◆ 27 ページの「コンピュータから Filr ファイルを表示する」
- ◆ 27 ページの「オフラインのファイルおよびフォルダを手動で同期する」
- ◆ 28 ページの「Filr Desktop からブラウザ内で Filr を起動する」
- ◆ 28 ページの「ファイルへのコメントの追加およびコメントの表示」
- ◆ 28 ページの「ファイルまたはフォルダの共有」
- ◆ 31 ページの「ファイルへのリンクの配布」
- ◆ 32 ページの「ファイルのアップロード」
- ◆ 32 ページの「ファイルまたはフォルダの Filr プロパティの表示」

Filr 操作の要約表

操作	フォルダ	ファイル
コメント		?
ファイルリンクの取得		?
Filr 情報の取得	?	?
オフラインで使用できるようにする	?	?
オンラインでのみ使用できるようにする	?	?
共有	*?	?
今すぐ同期化	**?	**?
ローカル変更を取り消す	***?	***?

* ネットフォルダ内からフォルダを共有することはできません。

** オフラインのファイルおよびフォルダのみを同期できます。

*** オフラインファイルに行った変更がまだサーバと同期されていない場合にのみ、ローカルの変更を取り消すことができます。

オフラインで使用できるようにする

Filr は選択されたファイルまたは選択されたフォルダとその中身をローカルディスクにダウンロードします。

[オフラインで使用可能な] ファイルおよびフォルダは周期的に Filr と同期されるので、Filr にログインしていないときでも、ローカルディスクにあるそれらのファイルにアクセスできます。

ファイルまたはフォルダをオフラインで使用できるようにするには：

- 1 該当するファイルまたはフォルダを右クリックします。
- 2 [[他の Filr オプション]] > [[オフラインで使用できるようにする]] をクリックします。

オンラインでのみ使用できるようにする

Filr はファイルまたはフォルダのコピーをローカルディスクから削除しますが、ファイルまたはフォルダはオンラインに保持されます。

注：ファイルとフォルダは個別にオンラインにすることができます。ただし、オフラインのフォルダ内にあるファイルを直接オンラインで使用可能にすることはできません。そのようなファイルをオンラインにするには、そのフォルダをオンラインにする必要があります。

ファイルまたはフォルダをオンラインでのみ使用できるようにするには：

- 1 該当するファイルまたはフォルダを右クリックします。
- 2 [[他の Filr オプション]] > [[オンラインでのみ使用できるようにする]] をクリックします。

キャッシュファイルを削除する

オンラインファイルが、まだオフラインで使用できるようになっていない場合、アプリケーションから、またはダブルクリックしてアクセスすると、そのファイルのコピーがローカルにキャッシュされます。ローカルにキャッシュされたファイルを、最後にアクセスしてからどれほどの期間保持するかを指定することができます。詳細については、[35 ページの「キャッシュファイルの削除」](#)を参照してください。

今すぐ同期

オフラインで利用可能な選択したファイルとフォルダを Filr サーバに対して同期します。



- 特定のオフラインのファイルまたはフォルダを同期するには、該当するファイルまたはフォルダを右クリックして、[[他の Filr オプション]] > [今すぐ同期] をクリックします。
- すべてのオフラインのファイルおよびフォルダを同期するには、Windows システムトレイの Filr アイコンを右クリックして、[[今すぐ同期]] をクリックします。

ローカル変更を取り消す

Filr サーバに同期できないファイルまたはフォルダに対して行った変更を元に戻すには、以下の手順を行います。

- 1 該当するファイルまたはフォルダを右クリックします。
- 2 [[他の Filr オプション]] > [[ローカル変更の取り消し]] をクリックします。

コンピュータから Filr ファイルを表示する

- 1 通知エリアの [Filr] アイコン  をクリックします。
または
通知エリアの [Filr] アイコン  を右クリックして、[[Filr フォルダを開く]] をクリックします。

自分のファイルシステムから直接 Filr フォルダにアクセスできます。Filr フォルダは通常、次の場所にあります。

c:\Users\username\Filr

Filr フォルダは、ユーザのお気に入りにもあります。


デフォルトの場所を変更する方法については、[24 ページの「ストレージ」](#)を参照してください。

ワークステーションと Filr とのファイル同期について詳しくは、「[20 ページの「同期の理解」](#)」を参照してください。

オフラインのファイルおよびフォルダを手動で同期する

スケジュール設定された同期まで待たずに、Filr とコンピュータとの間のファイルおよびフォルダの同期を手動で取ることができます。同期するファイルは事前に閉じられている必要があります。

すべてのファイルを手動で同期するには：


- 1 通知エリアの [Filr] アイコン  を右クリックして、[[今すぐ同期]] をクリックします。

ファイルまたはフォルダを個別に手動で同期するには：

- 1 同期するファイルまたはフォルダに移動します。
- 2 該当するファイルまたはフォルダを右クリックしてから、[[他の Filr オプション]] > [[今すぐ同期]] をクリックします。


Filr Desktop からブラウザ内で Filr を起動する

Filr Desktop アプリケーションを使用してブラウザ内で Filr を起動することができます。

- 1 通知エリアの [Filr] アイコン  を右クリックしてから、[[Web 上の Filr にアクセス]] をクリックします。

ファイルへのコメントの追加およびコメントの表示

ファイルにコメントを追加したり、コメントを表示したりできるユーザは、Filr 管理者からそれらの操作を許可されたユーザだけです。

- 1 コメントを追加する、またはコメントを表示するファイルに移動します。
- 2 該当するファイルを右クリックして、[[コメント]] をクリックします。
[Filr コメント] ダイアログボックスが表示され、ファイルに関連する既存のコメントを確認できます。
- 3 [[コメント]] フィールドにコメントを入力し、[[送信]] をクリックします。
または
既存のコメントに返信するには、返信するコメントの隣にある [[返信]] アイコン  をクリックしてから、[[送信]] をクリックします。

ファイルまたはフォルダの共有

Filr では、さまざまな方法でほかの人がファイルとフォルダにアクセスできるようにすることが可能です。ファイルを共有する方法は、共有する情報の機密性や特定の個人との関連性など、さまざまな要因によって決まります。

- **個々のユーザおよびグループとの共有** : 共有によって、組織内の特定のユーザやグループまたは組織外の特定のユーザと、ファイルおよびフォルダを共有することができます。ファイルまたはフォルダを共有する場合は、共有アクセス権の 1 つも割り当てます。

特定のユーザやグループと共有することで、ファイルおよびフォルダに対するセキュリティレベルの強度を最大化することができます。ユーザは共有を受けた項目に関する通知を受け取り、その項目は [自分が共有相手] エリアに表示されます。

- **ファイルリンクの配布** : ファイルへのリンク (URL) を配布することができます。ファイルへのリンクを配布すると、リンクを持つすべてのユーザがファイルにアクセスできるようになります。ただし、ファイルは [パブリック] エリアに表示されないため、ユーザがファイルを見るにはリンクに直接アクセスしなければなりません。
- **パブリックとの共有** : 項目をパブリックと共有すると、Filr サイトへの URL を持つすべてのユーザが [パブリック] エリアでそのファイルを見ることができます。

ファイルとフォルダは Filr デスクトップアプリケーションから直接共有できます。

- 1 共有するファイルまたはフォルダに移動します。
- 2 該当するファイルまたはフォルダを右クリックし、[[共有]] をクリックします。

[Filtr 共有] ダイアログボックスが表示されます。

- 3 [[ユーザ、グループ、電子メールを追加]] オプションに、共有相手のユーザ名またはグループ名を入力し始めて、ドロップダウンリストに名前が表示されたらクリックします。

または

共有相手となる外部ユーザの完全なメールアドレスを指定し、<Enter> キーを押します。

- 4 (オプション) 共有相手のユーザを追加するには、[ステップ 3](#) を繰り返します。

- 5 (設定による) 個々のユーザのアクセス設定の変更方法

5a [[共有相手]] セクションで、アクセス設定を変更するユーザを選択します。

5b 次のアクセス設定から変更するものを選択します。

アクセス権 : ビューアアクセス権、編集者アクセス権、または寄稿者アクセス権を付与します。(寄稿者はフォルダのみに適用されます。)

有効期限 : 共有の有効期限を指定します。

共有の有効期限は、指定した日数 (1 日は 24 時間で数え、有効期限を設定した時刻から数えます)、または特定の日付 (権限の有効期限は、選択した日の開始時に切れます) のいずれかで設定できます。

内部ユーザ : 共有受信者に、項目を内部ユーザと再共有することを許可します。

外部ユーザ : 共有受信者に、項目を外部ユーザと再共有することを許可します。

すべてのパブリック : 共有受信者に、項目をパブリックと再共有することを許可します。

ファイルリンク : 共有受信者に、項目をファイルリンク経由で再共有することを許可します。

ファイルリンクの詳細については、[31 ページ](#)の「[ファイルへのリンクの配布](#)」を参照してください。

メモ : 共有受信者に対する個人メモを含めます。共有受信者のみがメモを読むことができます。

- 6 (設定による) 複数ユーザのアクセス設定を同時に変更するには、次の手順を実行します。

6a Ctrl キーを押しながら、[[共有相手]] セクションで、アクセス設定を変更するユーザを選択します。

6b 次のアクセス設定から変更するものを選択します。

定義しないアクセス設定は、所定のユーザの個々のアクセス設定が保持されます。定義するアクセス設定は、現在選択されている各ユーザのアクセス設定に反映されます。

アクセス権 : 次のいずれかのアクセス役割をユーザまたはグループに付与します。

- ◆ **ビューア** : ユーザは以下のことを実行できます。
 - ◆ **共用フォルダ** : 表示
 - ◆ **共有サブフォルダ** : 表示
 - ◆ **フォルダおよびサブフォルダ内のファイル** : 表示および読み込み

- ◆ **編集者** : ユーザは以下のことを実行できます。
 - ◆ **共用フォルダ** : 表示
 - ◆ **共有サブフォルダ** : 表示
 - ◆ **フォルダおよびサブフォルダ内のファイル** : 表示、読み込み、および書き込み
- ◆ **寄稿権限 (マイファイル内のフォルダにのみ適用)** : ユーザは以下のことを実行できます。
 - ◆ **共用フォルダ** : 表示、名前変更、削除、またはコピー

重要 : 前述のように、自分のマイファイルエリアのフォルダの共有を受けた人も名前変更、コピー、および削除さえできるので、寄稿権限の共有アクセス権の付与は十分注意して行ってください。

- ◆ **共有サブフォルダ** : 表示、名前変更、削除、コピー、および移動
- ◆ **フォルダおよびサブフォルダ内のファイル** : 表示、名前変更、削除、コピー、移動、読み込み、および書き込み

有効期限 : 共有が期限切れになる日付を設定します。デフォルトの共有の有効期限は 30 日に設定されます。

共有の有効期限は、指定した日数 (1 日は 24 時間で数え、有効期限を設定した時刻から数えます)、特定の日付 (権限の有効期限は、選択した日の開始時に切れます)、または無期限のいずれかで設定できます。

内部ユーザ : 共有受信者に、項目を内部ユーザと再共有することを許可します。


外部ユーザ : 共有受信者に、項目を外部ユーザと再共有することを許可します。

すべてのパブリック : 共有受信者に、項目をパブリックと再共有することを許可します。

ファイルリンク : 共有受信者に、項目をファイルリンク経由で再共有することを許可します。

ファイルリンクの詳細については、[31 ページの「ファイルへのリンクの配布」](#)を参照してください。

メモ : 共有受信者に対する個人メモを含めます。共有受信者のみがメモを読むことができます。

7 (オプション) [\[\[パブリックにする\]](#)  をクリックして、項目をパブリックで使用できるようにします。次に、[\[\[共有相手\]\]](#) セクションで、追加したばかりの [\[\[すべてのユーザ\]\]](#) ユーザをタップし、パブリック用のアクセス制御設定を設定します。

8 (オプション) [\[通知\]](#) セクションで、ドロップダウンリストをクリックして、次の通知オプションから選択します。

なし : 通知を送信しません。

すべての受信者 : 共用者リスト内のすべての受信者に通知します。

新規に追加された受信者のみ : 共用者リストに追加された受信者にのみ通知します。

新規および変更された受信者 : 新規受信者および共有権限を変更している受信者にのみ通知します。

- 9 (オプション) [[**アクセスレポートを共有**]] をクリックして、共有相手の共有アクセスの詳細を表示します。

アクセスレポートには次の情報が表示されます。

- ◆ **ユーザ** : 共有にアクセスしたユーザの名前
- ◆ **IP アドレス** : 共有へのアクセスに使用したデバイスの IP アドレス
- ◆ **最初のアクセス時間** : 共有が最初にアクセスされた日付、時刻、およびタイムゾーン。共有が再びアクセスされても、情報を受け取ることはありません。
- ◆ **グループ** : ユーザがグループと共有している場合は、ユーザが所属しているグループの名前が表示されます。

共有が共有相手によってアクセスされると、共有元は電子メール通知とアクセス詳細を受信します。次の条件が満たされていると、共有ごとにレポートが生成されます。

- ◆ ユーザが Filr Advanced Edition ライセンスを持っている
- ◆ ファイルまたはフォルダが Filr 3.4 以降と共有される

- 10 [[**保存**]] をクリックします。

ファイルへのリンクの配布

ファイルへのリンク (URL) を配布することができます。ファイルへのリンクを配布すると、リンクを持つすべてのユーザがファイルにアクセスできるようになります。ただし、ファイルは [パブリック] エリアに表示されないため、ユーザがファイルにアクセスするにはリンクに直接アクセスしなければなりません。

- 1 リンクを配布するファイルまたはフォルダに移動します。
- 2 ファイルまたはフォルダを右クリックし、[[**ファイルリンクを取得**]] をクリックします。

[ファイルリンク] ダイアログボックスが表示されます。

そのファイルのファイルリンクがまだ生成されていない場合、[[**ファイルリンクを取得**]] をクリックします。

ファイルにアクセスするための次の URL が作成されます。

ダウンロードファイルリンク : ブラウザ設定に応じて、ファイルをダウンロードするか開くよう求めるプロンプトがユーザに出されます。あるいは、ファイルがブラウザに自動的に表示されます。このリンクからユーザは直接ファイルにアクセスできます。

表示ファイルリンク : このリンクは、ファイルを Web ブラウザの HTML ビューで表示します。Web ブラウザで表示できないファイルタイプの場合、このリンクは使用できません。

これでファイルリンクが [共有] ダイアログに表示されます。リンクに関連付けられている有効期限やメモを変更できます。または、[28 ページの「ファイルまたはフォルダの共有」](#)で説明されているように、[共有] ダイアログにアクセスして、リンクを持つユーザがファイルにアクセスできなくなるようにリンクを削除することもできます。

- 3 (オプション) [[**有効期限**]] の隣にあるドロップダウン矢印をクリックして、共有の有効期限が切れる日付を設定します。

共有の有効期限は、指定した日数 (1 日は 24 時間で数え、有効期限を設定した時刻から数えます)、または特定の日付 (権限の有効期限は、選択した日の開始時に切れず) のいずれかで設定できます。

- 4 ファイルリンクの配布に関して以下のアクションから選択してください。
 - ◆ **コピー**: コピーするダウンロードリンクか表示リンクを選択できるようにし、クリップボードにリンクをコピーします。その後、リンクを別のアプリケーションに貼り付けることができます。
 - ◆ **電子メール**: ワークステーションのデフォルト電子メールアプリケーションを使用して、リンクを電子メールで送信します。ダウンロードリンクと表示リンクのどちらも電子メールに含まれます。
 - ◆ **Filr 電子メール**: Filr の組み込み電子メールシステムを使用して、リンクを電子メールで送信します。ダウンロードリンクと表示リンクのどちらも電子メールに含まれます。
 - ◆ **削除**: ユーザが現在のリンクを使用してファイルにアクセスできないようにするために、ファイルリンクを削除します。
- 5 (オプション) ファイルリンクを作成した後、[28 ページの「ファイルまたはフォルダの共有」](#)の説明にしたがって、[共有] ダイアログにアクセスし、ファイルリンクのユーザアクセス権を変更したり他の管理機能を実行したりすることができます。

ファイルのアップロード

デフォルトでは、Filr は、ファイルタイプに基づいてファイルのアップロードを制限することはありません。ただし、Filr 管理者には、ユーザがアップロードできるファイルのタイプを許可またはブロックする機能があります。

あるタイプのファイルをアップロードすることを Filr 管理者が制限している場合、その制限されたタイプのファイルをアップロードしようとしても、ブロックされます。Desktop コンソールの [最近のアクティビティ] ページにエラーメッセージが表示され、Filr 管理者がバルーン通知を許可している場合は、デスクトップ上にバルーン通知が表示されます。

ファイルまたはフォルダの Filr プロパティの表示

ファイルとフォルダに関連する次の Filr プロパティを表示します。

- ◆ ファイル名
- ◆ ファイルパス (Filr システムのファイルまたはフォルダへのパスを示しています)
- ◆ ファイルサイズ (該当するのはファイルのみで、フォルダは該当しません)
- ◆ ファイルまたはフォルダを作成したユーザ
- ◆ ファイルまたはフォルダを作成した日
- ◆ ファイルまたはフォルダを変更した日
- ◆ ファイル共有元のユーザ
- ◆ ファイル共有先のユーザ

ファイルまたはフォルダの Filr プロパティを表示するには：

- 1 Filr プロパティを表示するファイルまたはフォルダを右クリックします。
- 2 **[[プロパティ]]** をクリックして、ネイティブの [Windows プロパティ] ダイアログを起動します。
- 3 **[[OpenText Filr]]** タブをクリックします。
ファイルまたはフォルダの Filr プロパティが表示されます。
- 4 (オプション) ファイルまたはフォルダを共有する権限がある場合、**[[共有]]** をクリックして、[Filr 共有] ダイアログボックスを起動できます。


Filr Desktop コンソールでの作業

Filr Desktop コンソールでの作業については、次のセクションを参照してください。

- [33 ページの「Filr アカウント情報の変更」](#)
- [34 ページの「データクォータの理解および表示」](#)
- [34 ページの「ファイルシステム上の Filr ファイル同期場所の変更」](#)
- [35 ページの「キャッシュファイルの削除」](#)
- [35 ページの「アプリケーションドリブンダウンロードによってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐ」](#)
- [37 ページの「同期問題の理解と解決」](#)
- [38 ページの「最近のアクティビティの表示」](#)
- [38 ページの「システムアラートの表示」](#)

Filr アカウント情報の変更

Filr Desktop アプリケーションの初期設定時に、アカウント情報と Filr サーバ情報を指定します。初期設定の後、情報はいつでも変更できます。

- 1 通知エリアの **[Filr] アイコン**  を右クリックしてから、**[[Filr コンソールを開く]]** をクリックします。
- 2 デスクトップコンソールで、**[[アカウント]]** をクリックします。
- 3 次の情報を指定します。
ユーザ名 : Filr サイトにログインするときに使用する Filr ユーザ名を指定します。
パスワード : Filr サイトにログインするときに使用する Filr パスワードを指定します。
パスワードを記憶する : Filr Desktop アプリケーションにパスワードを記憶させる場合は、このオプションを選択します。(このオプションは、Filr 管理者によって無効に設定されている場合があります。)
サーバ URL : ファイルをコンピュータに同期する Filr サイトの URL を指定します。例：
`https://Filr.mycompany.com` とします。
- 4 **[[適用]]** をクリックします。

データクォータの理解および表示

Filr サイトに保管するデータの量を制限するために、Filr 管理者はデータクォータを有効にすることがあります。

Filr サイトでデータクォータが有効な場合、何がデータクォータにカウントされるのか、データクォータにはどんな種類があるのか、現在のデータ使用量を表示するにはどうすればよいかを理解し、割り当てられたデータクォータに近づいている時が分かるようにしてください。割り当てられたクォータに達すると、以前に削除したファイルおよび添付ファイルがパージできるようになります。


データクォータの理解

データクォータは、個々のユーザが Filr サイトに追加できるデータの量を制限します。[ネットフォルダ] (ユーザのホームディレクトリを含む)にあるファイルは、データクォータにカウントされません。

データクォータの表示

データクォータは、ユーザの Filr サイトで使用されている場合もあれば、使用されていない場合もあります。このセクションに説明されている方法で自分のデータクォータを表示できない場合は、Filr 管理者が Filr サイトに追加できるデータの量をまだ制限していないということです。

自分のデータクォータは、デスクトップアプリケーションから直接表示できます。

- 1 通知エリアの [Filr] アイコン  を右クリックしてから、[[Filr コンソールを開く]] をクリックします。
- 2 デスクトップコンソールで、[[アカウント]] をクリックします。

ユーザのデータクォータが、現在使用済みの量と共に表示されます。最大ファイルサイズも表示されますが、これは Filr サイトにアップロード可能なファイルの最大サイズです。


ファイルシステム上の Filr ファイル同期場所の変更

デフォルトでは、Filr ファイルはユーザのファイルシステムの `c:\Users\username\Filr` フォルダに同期されます。

Filr Desktop アプリケーションの初期設定時に、ファイルシステム上のインストール場所を指定できます。Filr フォルダの場所は、初期設定後いつでも変更できます。

重要: 複数のコンピュータからアクセスできるネットワーク上の場所へは、ファイルを同期しないでください。Filr フォルダが複数のコンピュータからのアクセスが可能なネットワーク上の場所にある場合、いずれかのコンピュータからアクセスされた Filr ファイルがコンピュータ間および Filr サーバと同期が取れなくなる同期問題が発生するおそれがあります。

Filr フォルダの場所を変更するには：


- 1 通知エリアの [Filr] アイコン  を右クリックしてから、[[Filr コンソールを開く]] をクリックします。
- 2 デスクトップコンソールで、[[ストレージ]] をクリックしてから、[[ブラウズ]] をクリックして、ファイルシステム上で Filr フォルダを置く新しい場所をブラウズします。
- 3 [[OK]] > [[適用]] の順にクリックします。
- 4 コンピュータからログアウトしてログインし直し、変更を有効にします。

キャッシュファイルの削除

オンラインファイルが、まだオフラインで使用できるようになっていない場合、アプリケーションから、またはダブルクリックしてアクセスすると、そのファイルのコピーがローカルにキャッシュされます。

Desktop コンソールの [[ストレージ]] タブに、ローカルにキャッシュされたファイルがアクセスまたは変更されなくなった後にデスクトップに保持される日数として Filr 管理者が設定したデフォルトの日数が示されています。


ローカルにキャッシュされたファイルがアクセスまたは変更されなくなった後にデスクトップに保持される日数を自分で変更できるのは、Filr 管理者から変更を許可されたユーザのみです。キャッシュされたファイルの有効期間を変更するには、次のように操作します。

- 1 通知エリアの [Filr] アイコン  を右クリックしてから、[[Filr コンソールを開く]] をクリックします。
- 2 デスクトップコンソールで、[[ストレージ]] をクリックします。
- 3 (オプション) キャッシュされたファイルの有効期間の変更を Filr 管理者から許可されたユーザである場合は、[[次の時点以降にキャッシュされたファイルを削除]] オプションを選択し、変更後の日数を指定します。

アプリケーションドリブンダウンロードによってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐ

Filr では、システム管理者がアプリケーションドリブンダウンロードを制御し、Filr の動作によってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐことができますようになりました。詳細については、『[OpenText Filr 23.2: Maintenance Best Practices Guide \(OpenText Filr 23.2: 保守のベストプラクティスガイド\)](#)』の「[Controlling File Downloads by the Filr Desktop Applications \(Filr Desktop アプリケーションでファイルのダウンロードを管理\)](#)」を参照してください。

自分のワークステーションに適用されているアプリケーションドリブンダウンロードの制限を確認するには、以下の手順を行います。

- 1 通知エリアの [Filr] アイコン  を右クリックしてから、[[Filr コンソールを開く]] をクリックします。
- 2 [[アプリケーション]] をクリックしてから、[[View applications]] をクリックします。

Filr 管理者が適用したオプションに基づいて、以下のいずれかが該当します。

- ◆ **制限なし** : すべてのアプリケーションは Filr 経由でファイルをダウンロードすることが許可されます。
- ◆ **許可されているアプリケーション** : Filr 管理者が Filr 経由でファイルをダウンロードすることを許可したアプリケーションがリストされます。

許可されていないアプリケーションがファイルをダウンロードしようとする、そのアプリケーションではファイルのダウンロードをブロックされていることがユーザに通知され、メッセージが [[システムアラート]] タブに表示されます。ユーザはこのアラートを破棄することを選択できます。あるアプリケーションのアラートがすでに [[システムアラート]] タブにあるときに、そのアプリケーションがファイルのダウンロードを再び試行した場合、通知は何も表示されません。

特定のアプリケーションのアラートが再び表示されないようにするには、[[アプリケーション名]] を再び表示しない] オプションを選択します。

別のアプリケーションが Filr 経由でファイルをダウンロードすることを許可されるべきであると思われる場合は、Filr 管理者に連絡してください。

- ◆ **ブロックされているアプリケーション** : Filr 経由でのファイルのダウンロードがブロックされているアプリケーションがリストされます。

ブロックされているアプリケーションが実行されると、システム管理者がそのアプリケーションによるファイルのダウンロードをブロックしていることがユーザに通知されます。ユーザはこのアラートを破棄することを選択できます。あるアプリケーションのアラートがすでに [[システムアラート]] タブにあるときに、そのアプリケーションが実行を再び試行した場合、通知は何も表示されません。

特定のアプリケーションのアラートが再び表示されないようにするには、[[アプリケーション名]] を再び表示しない] オプションを選択します。

- ◆ **許可されているアプリケーションとブロックされているアプリケーション** : Filr 管理者がファイルをダウンロードすることを許可したアプリケーションとブロックしたアプリケーションがすべてリストされます。

[[アプリケーション]] タブにも、ローカルの [[許可されている]] および [[ブロックされている]] リストが表示され、このリストを使用して Filr 管理者が許可もブロックもしていない未識別のアプリケーションを管理することができます。未識別のアプリケーションが Filr 経由でファイルのダウンロードを試行すると、そのアプリケーションはユーザが制御できるローカルの [ブロックされているリスト] に追加され、通知が表示されます。警告メッセージは [[システムアラート]] タブにも表示され、アプリケーションがダウンロードすることを許可するオプションと一緒に表示されます。[[許可]] をクリックすると、そのアプリケーションは [[アプリケーション]] タブ内でローカルの [ブロックされている] リストからローカルの [[許可されている]] リストに移動します。

右 (>>) および左 (<<) ボタンを使用して、ローカルの [[許可されている]] リストと [[ブロックされている]] リストの間でアプリケーションを移動することもできます。


同期問題の理解と解決


ほとんどの同期問題は、Filtr コンソールの [保留中のアクション] セクションから解決できます。さらに調査が必要な問題は、デスクトップログを確認します。


- ◆ [37 ページの「保留中のアクションの理解」](#)
- ◆ [37 ページの「ドキュメントの競合について」](#)


保留中のアクションの理解

次のいずれかのアイコンで表わされる同期問題が発生することがあります。


 : アップロードのエラーがあります。


 : アップロードの警告があります。

 : ダウンロードのエラーがあります。

 : ダウンロードの警告があります。

 : アップロードとダウンロードのエラーがあります。

 : アップロードとダウンロードの警告があります。

 : クライアントはまだファイルのアップロードまたはダウンロードを試行していません。

ドキュメントがダウンロードまたはアップロードされていない理由が分からない場合は、[38 ページの「最近のアクティビティの表示」](#)に説明されている方法で、最近のアクティビティを表示してください。

ドキュメントの競合について

あるドキュメントが同時に複数の場所で編集されている場合、最初に保存して閉じたファイルのみが元のファイル名で保存され、Filtr にアップロードされます。そのファイルの他のバージョンは、別の名前でも保存されて、Filtr にアップロードされます。ファイルのコメントや共有情報がある場合、その情報は元のファイルにのみ保持されます。


たとえば、ユーザ A とユーザ B が同じ時刻に異なるワークステーションで file1.doc の編集を開始したとします。ユーザ A は自分の変更内容を保存してファイルを閉じます。ファイルは元の名前 (file1.doc) でユーザ A の変更内容が適用されて Filtr に保存されます。その後、ユーザ B が自分の変更内容を保存してファイルを閉じます。ユーザ B のファイルは file1 (ユーザ B の競合コピー #1).doc に名前が変更されて、Filtr にアップロードされます。その後、ユーザ B のデスクトップがユーザ A のバージョンの file1.doc をダウンロードすると、ユーザ B に自分のファイルの名前が変更されていることが通知されます。

重要 : 名前変更されたファイルは、そのファイルを作成したユーザがそのファイルがあったフォルダに対する寄稿者権限を持つ場合にのみアップロードできます。たとえば、あるファイルをユーザ B と共有しており、ユーザ B がそのファイルに対する編集者権限しか持っていない (寄稿者権限を持っていない) 場合、ファイルが名前変更された後、そのファイルを Filr にアップロードすることはできません。

最近のアクティビティの表示



Filr Desktop アプリケーションで最近行われたアクティビティを表示できます。たとえば、Filr フォルダが同期された日時、変更されたファイル、および発生した同期の問題に関する情報が表示されます。

最近のアクティビティを表示するには：


- 1 通知エリアの [Filr] アイコン  を右クリックしてから、[[Filr コンソールを開く]] をクリックします。
- 2 [[最近のアクティビティ]] をクリックします。

システムアラートの表示

Filr Desktop アプリケーションでは、新しいソフトウェアのアップデート、期限切れパスワード、サーバダウンタイムなど、さまざまなアラートをユーザに知らせる必要が生じることがあります。

システムアラートが発生すると、この情報アイコン  が [Filr] アイコン  上で点滅します。

システムアラートを表示するには：

- 1 通知エリアの [Filr] アイコン  を右クリックしてから、[[Filr コンソールを開く]] をクリックします。
- 2 [[システムアラート]] をクリックします。

デスクトップアプリケーションのブランディングのカスタマイズ

Filr 管理者は、デスクトップアプリケーションのルックアンドフィールを企業イメージに合わせて変更できるようになりました。ブランディングの変更は、いったんログアウトしてからデスクトップアプリケーションに再度ログインした時点でデスクトップに反映されます。デスクトップアプリケーションに再度ログインすると、Filr 管理者がユーザインタフェースをカスタマイズしたというメッセージが表示されます。[[OK]] をクリックすると、カスタマイズしたデスクトップアプリケーションが自動的に再起動されます。

バルーン通知は表示されないことがある

デフォルトでは、特定のイベントが発生した場合に、Filrによってデスクトップにバルーン通知が表示されます。たとえば、Filrアプリケーションが起動したとき、ファイルまたはフォルダが共有されたとき、ファイルまたはフォルダがオンラインまたはオフラインになったとき、ブラックリストにあるアプリケーションが開かれたとき、デスクトップクライアントのアップグレードが使用可能になったときなどです。

ユーザのデスクトップでのバルーン通知を、Filr 管理者が有効または無効に設定できます。

Filr 管理者がバルーン通知を無効にした場合、ユーザは、Filr Desktop コンソールを使って通知に関する次の情報を表示し、適切なアクションをとることができます。

- ◆ **最近のアクティビティ**：ファイルまたはフォルダの操作など、デスクトップアプリケーションでの最近の操作を表示できます。
- ◆ **システムアラート**：新しいソフトウェアアップデート、期限切れのパスワード、サーバダウンタイムなど、さまざまなアラートが表示されます。


5 トラブルシューティング

以下のセクションでは、Filr Desktop アプリケーションを使用中に起きる可能性のあるシナリオに関するトラブルシューティング情報を提供します。

- 41 ページの「同期していないファイル」
- 41 ページの「ログファイル」
- 42 ページの「アップグレードに関する問題」
- 43 ページの「一般的な問題」
- 43 ページの「Windows の長いパス」

同期していないファイル

Filr コンソールの [[保留中の変更]] ビューには、正常に完了しなかった同期アクションに関する有用な情報が含まれることがあります。

- 1 通知エリアの [Filr] アイコン  を右クリックしてから、[[Filr コンソールを開く]] をクリックします。
- 2 [保留中の変更] ビューから、同期アクションを再試行するか、Filr ワークスペースへの変更を取り消すことができます。

右クリックメニューを使用して、サーバと同期できなかった変更を取り消すこともできます。

- 1 該当するファイルまたはフォルダを右クリックします。
- 2 [[他の Filr オプション]] > [[ローカル変更の取り消し]] をクリックします。

ログファイル

ログファイルは C:\Users\username\AppData\Local\Novell\Filr にあります。

AppData フォルダはデフォルトでは非表示です。このフォルダにアクセスするには、Windows エクスプローラーのアドレスバーに次のように入力します。

```
%LOCALAPPDATA%\Novell\Filr
```

ログファイルは次のとおりです。

- マージされたビュー - %localappdata%\Novell\Filr\filr_dialog.log
- 同期アプリケーション - %localappdata%\Novell\Filr\filr.log

アップグレードに関する問題

Windows のデスクトップアプリケーションをアップグレードするときに発生した問題のトラブルシューティングを行うには、次の点を確認してください。

- 42 ページの「デスクトップアプリケーションをアップグレードした後、Windows のデスクトップアプリケーションに古いバージョンのアイコンが表示される」
- 42 ページの「デスクトップアプリケーションをアップグレードするときに Windows のデスクトップがハングすることがある」

デスクトップアプリケーションをアップグレードした後、Windows のデスクトップアプリケーションに古いバージョンのアイコンが表示される

Windows デスクトップで Filr Desktop アプリケーションをアップグレードした場合、[お気に入り] に表示される Filr アイコンが新しい OpenText Filr アイコンにアップデートされないことがあります。

解決策: 次の手順を実行します。

1. ファイル `%localappdata%\IconCache.db` を削除します。
デフォルトでは、IconCache.db ファイルは非表示です。
2. Windows のエクスプローラを再起動します。

デスクトップアプリケーションをアップグレードするときに Windows のデスクトップがハングすることがある

Windows のデスクトップで Filr Desktop アプリケーションをアップグレードするときに、クライアントのインストーラがハングすることがあります。

解決策: 次の手順を実行します。

1. クライアントのインストールプロセスを手動で終了させます。
 - a. Windows のタスクマネージャを起動します。
 - b. `msisexec.exe*32` プロセスを右クリックし、[[プロセスツリーの終了]] をクリックします。
2. コンピュータを再起動します。
3. もう一度アップグレードプロセスを起動し、システムのプロンプトに従ってアップグレードを完了します。

一般的な問題

エクスプローラで大きいサイズのファイルを移動するとエラーが表示される

大きいサイズのファイルを Filr フォルダから Filr フォルダの外に移動すると、エクスプローラでエラーが表示されます。エラーを無視して [キャンセル] をクリックできます。ファイルは正常に移動されます。

ファイルを Filr フォルダの外に移動する前に、ファイルをオフラインにすることをお勧めします。

Windows の長いパス

ファイル操作の実行時にエラーが発生する

pdf、exe、zip などのファイルタイプの中には、ファイル操作の実行に関するエラーが表示されるものがあります。これらのエラーは、個々のアプリケーションまたはオペレーティングシステムの制限が原因で発生し、Filr が原因ではありません。

セキュリティタブを使用できない

フォルダのパスが 450 文字を超える場合は、ファイルを右クリックし > プロパティを選択すると、セキュリティタブを使用できません。このエラーは、オペレーティングシステムの制限が原因で発生し、Filr が原因ではありません。

制限

- 新規インストール後、255 文字を超える文字を含むフォルダをブラウズすると、「場所が使用できません」というエラーが表示される場合があります。この問題を解決するには、Windows エクスプローラの現在のインスタンスを閉じて、Windows エクスプローラの新しいインスタンスを使用してブラウズします。
- 一部のアプリケーションでは、ファイル操作の実行時にエラーが表示される場合があります。これは、アプリケーションまたはオペレーティングシステムの制限が原因である可能性があります。